

薬とグレープフルーツ・柑橘類の飲み合わせ

薬とグレープフルーツの飲み合わせ

グレープフルーツなどの柑橘類に含まれる成分は、一部の医薬品の効果を強め、副作用を現れやすくすることが知られています。

この作用は、グレープフルーツを摂った日だけではなく、2~3日続く場合があります。



飲み合わせのよくない薬

一部の免疫抑制剤や降圧剤、高脂血症治療薬、抗がん剤など、様々な薬が影響を受ける可能性があります。

柑橘類は食べてはいけないの？

摂取する柑橘類の種類によって、影響が異なると考えられます。

「フラノクマリン類」という成分を多く含むものは、薬の効果や副作用に与える影響が大きくなる可能性があります。影響を受けやすい薬を服用中の方は、下表の「影響が大きい」柑橘類の摂取を避けてください。



影響が大きいもの

グレープフルーツ、スウィーティー、メロゴールド、バンペイユ、レッドポメロ、ダイダイ、ブンタン、ハッサク、サワーポメロ、メキシカンライム、甘夏ミカン、パール柑、サンボウカン、スウィートオレンジの果皮、レモンの果皮、日向夏の果皮

影響が小さいもの

ネーブルオレンジ、ポンカン、イヨカン、ユズ、カボス、スタチ、キンカン、スウィートオレンジの果汁、レモンの果汁、日向夏の果汁

影響がないもの

温州ミカン、デコポン

【参考文献】 齋田哲也ほか, 医療薬学 32(7):693-699, 2006.

※ ジュースやマーマレードなどの加工品にも
注意が必要です。

札幌医科大学附属病院 薬剤部